

## ①主権者教育参加型教材「参政剣伝説」を公開しました

主権者教育のための参加型教材「参政剣伝説」の概要を総務省HPに掲載しました。

本教材は、中高生が政治への参加や投票することの大切さについて学べる出前授業の教材として制作しました。謎解きゲーム、模擬投票、選挙制度の学習を動画を活用しながら計90分で実施することが可能です。

本教材を活用いただいた団体におかれましては、ぜひ総務省選挙部管理課まで情報をお寄せください。主権者教育だより等でご紹介させていただきます。（ご希望に添えない場合もございます）



### 【参考URL】

[https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo\\_s/news/senkyo/education\\_adviser/index\\_sanseiken.html](https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/senkyo/education_adviser/index_sanseiken.html)

## ②情報誌Voters No.56を発行しました

56号（6月発行）の特集は「図書館と民主主義、主権者教育について考える」です。身近にある図書館が、民主政治の基盤であること、また主権者教育の場としても機能していることを、国内外の事例等により紹介しています。本特集は、立教大学の中村百合子先生、図書館プロデューサーの岡本真氏、筑波大学の小泉公乃先生、北海道札幌南高校司書の成田康子先生にご執筆いただきました。

また、昨年度の優良活動表彰団体であるあきた地球環境会議から高校生を対象に実施した「気候変動×主権者教育」プロジェクトについて、新宿区選挙管理委員会からは区内小学校での「地域」をテーマとした選挙出前授業の拡がりについて、御寄稿いただきました。

その他、連載「アメリカの主権者教育」・「デンマークにおける民主主義の実践(今号で最終回)」を掲載しています。是非ご覧ください。

【問合せ先】（公財）明るい選挙推進協会 Tel：03-6380-9891

## 主権者教育だよりへの情報掲載について

主権者教育だよりでは、主権者教育や選挙啓発に関する総務省や各選管などの取組みを広く情報発信しています。

自分たちの取組みやイベントを紹介してほしいという希望にも可能な限りお応えしますので、ぜひご連絡ください。なお、配信は毎月月末を予定しています。

【問合せ先】総務省自治行政局選挙部管理課選挙啓発係 中南・堀籠・川村  
Tel：03-5253-5574 FAX:03-5253-5575

## ◆特集◆ コロナ禍における主権者教育と選挙啓発

コロナ禍のいま、ネットのツールを活用して主権者教育・選挙啓発に積極的に取り組む市町村を紹介します！

Twitterを積極活用！

### ③小田原市選挙管理委員会

神奈川県小田原市：5月17日 小田原市長選挙執行  
投票率46.79%（前々回より4.92ポイントUP※前回無投票）

小田原市選挙管理委員会では、特に投票率が低い若年層有権者に、選挙に対する関心を持ってもらうため、Twitterに小田原市公式選挙啓発キャラクター『きよちゃん』のアカウントを開設し、令和2年3月より運用しています。ツイートは基本的に週2回、職員が1人1つ以上のアイデアを出し合い、選挙に関する知識やお知らせ、選挙啓発イベントの開催案内等を『きよちゃん』の言葉で発信しています。その他にも、他自治体の公式アカウントのツイートを、了承を得てリツイートする等を行っています。

臨時啓発における活用では、投票日約一か月前からツイート内容を市長選挙における公職選挙法の豆知識に絞り、興味・関心を引きつけられるものや、期日前投票の積極的な利用を呼びかける内容の発信に注力しました。選挙当日は、投票速報及び開票速報のツイートをリアルタイムで実施しました。今後はきよちゃんのVtuber化等も検討していく予定です。



『きよちゃん』選挙情報発信中！！  
【Twitter】@Odawara\_senkyo

Twitter アカウント  
QRコード

選挙啓発の在り方を見直して都知事選に臨む！

### ④町田市選挙管理委員会

東京都町田市：7月5日 東京都知事選挙執行予定

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い外出自粛が続く5月、7月5日の東京都知事選挙に向けた啓発活動を大幅に見直しました。3密を避け、ソーシャルディスタンスを取り、どのように啓発活動を行うか。検討の結果、私たちが行ったのはインターネットのさらなる活用です。

その1つとして、大人目線のメッセージだけではなく、若者のありのままの声を発信する「伝えたい！今！～ドキドキ編～」を6月1日から市のHPで公開しました。選挙に関心がなかった若者が世代間格差の現状を知り、当事者意識を持って投票に行こうと思った気持ちの変化などが綴られています。

その他にも、幅広い年代の方から好評を得ている、おうち時間を楽しむ「おうちで文プロ！」の企画に参加しました。町田市ご当地めいすいくん「まち☆リスめいすい」のぬりえデータを町田市明るい選挙推進協議会の公式ツイッターで配信しています。

新型コロナウイルス感染症の収束を祈りつつ、今後も新しい啓発活動にチャレンジしていきたいと思えます。

【参考URL】市HP：[https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/senkyo/20200705tochiji/messege\\_dokidoki.html](https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/senkyo/20200705tochiji/messege_dokidoki.html)  
公式Twitter：@machimeisui

